

北海道NPO情報



発行 北海道情報宣伝研究会
札幌市中央区北4条西12丁目E
1976年7月9日第3種郵便物認可
定価 100円



NPO推進北海道会議

北海道NPOサポートセンター

【2月号】

市民活動団体を支える社会的支援システムを強化しよう！ 【2004年2月発行】

もくじ	ページ
NPO法人連絡会開催報告	2～3
NPO法人のための会計講習会	4
コミュニティビジネスフォーラム/片岡勝セミナー	5
NPO総合情報誌 [えぬぴおん] 第8号・第9号	6
NPO研修日記 その9/雪まつりNPO雪像	7
NPOな・・・書籍案内、イベント案内	8
NPOサポート事業のご案内	9
情報BOX・助成金情報	10～12



「地域福祉・NPOセミナー」開催のお知らせ

主催 北星学園大学杉岡研究室 / 北海道地域福祉学会
NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター

日時 2月13日(金) 午後6時30分～9時

会場 札幌市エルプラザ4階中研修室

(札幌市中央区北8西3 JR札幌駅北口 西地下通路直結)

参加費 500円

演題 カナダのNPO活動の現状と課題ー国家と国民の役割ー

講演者 トロント大学教授 イト・ペング氏

講演内容

NPO先進国カナダの現状と課題について、地域社会で生活する人々のためのサポートをどのように取り組んでいるのか、財政難の時期に国とNPOの関係はどう再構築されるのか、日本の21世紀におけるNPO社会の建設に向けて、カナダの多文化共生主義に根ざすNPOの活動に学びディスカッションを行います。

講師紹介 社会政策・ジェンダー・福祉国家論研究者として知られており、日本での生活経験もあり知人友人も多い。1996年から4年間北星学園大学社会福祉学部にも所属していたため、札幌市の事情や日本の福祉事情にも詳しい。講演は日本語で行ないます。

申し込み 会場・資料準備のため2月5日までに以下の問い合わせ先に申し込み下さい。

北星学園大学杉岡研究室 (なるべくメールでお願いします。)

メール sugioka@hokusei.ac.jp FAX 011-894-3690 杉岡あてへ

北海道NPOサポートセンター 北村 電話 011-204-6523 FAX 011-261-6524

メール kitamura@npo-hokkaido.org

NPO法人連絡会開催報告

「NPO法施行5年～これからのNPO活動の課題」

「NPO法施行5年～これからのNPO活動の課題」をテーマに2004年1月10日に札幌市Lプラザにて開催されました。参加者60名。

【開会】「北海道内のNPO法人の現状」「NPO法施行5周年シンポジウム」

北海道NPOサポートセンター理事長 杉山さかゑの挨拶、NPO法施行5周年記念シンポジウム「NPOの過去・現在・未来」の報告（『北海道NPO情報』1月号参照）に続き、NPO推進北海道会議事務局長 佐藤隆より2つの提案が示されました。

官設官営の道立市民活動促進センターや札幌市市民活動サポートセンターと、道内各地の民設民営サポートセンターの市民活動に対する支援機能についてどうあるべきか提案していく。

行政との協働で事業を進める中、発議のイニシアティブがお金を出す行政にあるといった仕組みの欠陥が見えてきた。NPO法人制度が出来た根拠は、公益を考え直す社会的な仕組みづくりであったはずである。行政側から公益の考え方、有り様、仕組みづくりが提案されるのではなく、行政との協働についてNPO側から提案する時期にある。

環境、福祉といった分野別の集まりを持ち、行政における2005年度の予算に反映されるよう5月には形にしていきたい。

川北氏より上記シンポジウム報告についての捕足提案。

NPOの方向性について、非営利性に重点を置くのか、あるいは市民活動に重点を置くのか改めて問う必要がある。



「人の役に立つ、社会の役に立つ」を一義に置き、公益性の範囲を決めてその中に入ってくる市民活動を支援していく制度づくり（非営利性）に重きを置くのか、市民が自発的に活動が行える環境づくり、役に立つかよりも市民が自己実現も含めて自分達がやりたいことを実現の道具として活用できるよう、より自由に公益を広く定義すること（市民活動）に重きを置くのか論じていく必要がある。私的には非営利性を重要視すべきと考える。確かに公益性、自発性、自主性を尊重したい。しかし、その時重要なのは情報公開等を証明する権限を役所が認定するのではなく市民がそれを認める制度にしたい。現NPO法では情報開示を求める水準が低いと感じている。

「非営利性に重点を置くのか」「市民活動に重点を置くのか」「公益とは何なのか」というのは重たい言葉である。皆さんの

団体における答えを考えていただきたい。

川北氏より上記佐藤提案についての捕足提案。

市民が協働の発議者となり得るに足りない要素は、市民側が提案する能力がないということではないか。行政の施策に関してどれだけ知っているのだろうか。

市民側においても、予算編成期の前に今年の予算の進捗と来年の予算をどう考えているのかを行政の人に聞き、次の施策の方向性を理解することが必要である。

NPO活動によりそれぞれの活動に関する視野洞察は広がってきたであろうが、同じような活動をしている団体と、市民主導、市民が市民を信頼できる社会を作っていこうと考えた時、共通する課題について行政にぶつけてみてはいかがか。今までの動きの延長線で視野をひろげていき、本来市民が得意としてきた他の分野との重なり合いの領域、他との新しい重なりを生んでいただきたい。

【講演】「これからのNPO活動の課題」川北秀人 I I H O E 代表

< NPOと、これまでの5年間 >

特定非営利活動法人の数は全国で14,199団体（'03年11月末）、認知はされているが認識されていない状態にある。

昨年11月までの1年間に認証を受けた法人は全国で5,223団体。4割近くがまだ一度も決算を迎えていない。この団体達は決算ができるのだろうかと気になっている。どんな団体が申請しているのかよく分からない。都道府県や市町村で実態調査を細かくして欲しい。

社会的な変化として、介護保険法施行（2000年）、総合的な学習の時間スタート（2002年）、特殊法人改革から公益法人改革へ、支援費制度スタート（2003年）、「協働」、市町村合併、構造改革「特区」などがあげられる。

地域では、市民立の風力発電所、介護保険事業者1000団体以上の設立、保育所やフリースクールの設立など新しい市民事業が育っている。日本は市民事業や社会事業家が遅れているといわれるが、我が国は市民事業大国である、と胸を張って言いたい。30年以上、市民が有機農業、減農薬野菜を直接生産者から消費者にバトンタッチする仕組みを作ってきた歴史がある。昔からある市民活動、市民事業がそれなりの成果を持っていた所に、新しい制度がはいつて来たことで少し追い風が吹いてきたのである。

認定NPO法人制度、法律の趣旨を生かそうとするなら基準と手続きを改善するしかない。法律ができて2年たち問題点を指摘しているのにまだ変わらないのは、我々のかけているプレッシャーがまだ生ぬるいのかと思う。

市民団体が本当に市民に信頼される存在になれるかが、この5年間の次のテーマとして確認しなければならぬ。

<NPOと、これからの5年間>

国家財政が更に悪化していく中、NPO支援予算はどのくらい残っているだろうか。NPOにおける自主財源、自立的な経済運営について考えたり準備する時間は4年しか残っていない。補助金を得た自分たちの活動は本当に町を変えるために使われているのか、成果が問われる5年間である。

<NPOは市民に、企業に、行政に信頼されるのか>

アメリカでは日常的に実施調査を兼ねて、若い人は寄付集めにいくものだという文化がある。日本は、寄付をする文化がないのではなく、寄付を頼む文化がない(頼み方が下手)のである。協働に至っては、行政としても協働したいが、協働しようにも、行政が知っているところに行くしかない状態にある。NPOが「思いの発信」「試み」「提案」「成果」「変革」に対し、市民・企業・行政が「期待」「参加」「協力」「信頼」「社会参画」するという繰り返し・積み重ねによる、信頼の循環を生み出せるかが重要である。

セクター全体を考慮した場合、何をすべきかを絞りこみ(「あの団体は、こういうことが得意」)、行動を記録し振り返ることにより業務や経営の品質を高め、情報を積極的に開示していくことが必要である。自分達がいい活動を行っているのであれば、それを証明していく情報公開をしていくべきである。

【フリップ・ディスカッション】

下記によりフリップ・ディスカッションを行った。

- Q1 地域や貴団体が2年前とどう変わったか。
 - Q2 地域や貴団体が2年後にどうなっていたいか。
 - Q3-1 そのために貴方や貴団体がしなければならないこと。
 - Q3-2 そのために誰かの支援を得て実現すること。
- 貴方や貴団体においても、考えてみてはいかがでしょうか。

【報告 北村美恵子】



市民活動 N-POWER ツアー

2月から3月はじめにかけて、8回にわたり、札幌市職員を対象とした市民活動・NPOへの理解を深める研修を行います。この事業は、昨年末に公募された札幌市元気活動プロポーザル事業として実施が決まったものです。研修はNPOについて基本的なことを学んだあと、実際に活動しているNPOの事務所を訪問してまわります。現場で実践者から話を伺い、NPOに秘められたPOWERを感じてもらおうという内容です。多くのNPO・ワーカーズの方にご協力いただき実施します。

<予定コースのご紹介>

【各コース共通：NPOめぐり in 札幌ビル】

北海道NPOサポートセンター、札幌チャレンジド、飛んでけ！車いすの会、ボラナビ倶楽部

【コース別：NPOめぐり in SAPPORO】

北コース (2月10日、12日)

子育て支援ワーカーズ プチトマト(とんとんひろば in あさぶ)、子どもサポートどろんこクラブ
札幌アシストセンターマザー、さっぽろ村コミュニティ工房、助け合いワーカーズ そよ風

東コース (2月17日、19日)

自立生活センターさっぽろ、インフォメンター、シビックメディア(市民情報センター)、ワーカーズ・コレクティブ えこふりい

南コース (2月24日、26日)

ホームヘルパーノア、社会福祉法人 草の実会 野の花、レッドリボンサッポロ

西コース (3月2日、4日)

在宅生活支援サービスホーム花風、ほしの里、札幌・障害者活動支援センターライフ、自然食品と手作り品「ひだまり」、北海道アイディアランド協議会

担当：北海道NPOサポートセンター(大坂、山上)【札幌市元気プロポーザル応募事業】

NPO法人のための会計講習会

『年度末決算書を作りましょう』

年が明けてぼつぼつと、年度末後に提出する事業報告書等へのお問い合わせが増えてきました。決算書作成に不安をお持ちの方もいらっしゃるようです。

みなさんの声にお応えして、当センターでの講習会を下記のように開催致します。3月決算に向けて今から準備をはじめましょう。今回は会計ソフトを使って、入力による仕分けを行い、決算書作成までのプロセスを学びます。ぜひこの機会にご参加下さい。

日 時 1日の講座 2月23日(月) 10:00~16:00

半日の講座 2月24日(火) 13:00~16:00

場 所 北海道NPOサポートセンター札幌ビル研修室
(札幌市中央区北5西6札幌ビル8F)

参加人数 各回とも10名程度(1団体2名まで)

対 象 者 <1日の講座>は会計の基礎から学びます。会計経験の少ない方でも受講いただけます。

<半日の講座>は現金出納帳・振替伝票処理の経験がある方対象です。

*どちらの講座もパソコンの操作(キーボード入力・マウス操作)ができる方に限らせていただきます。

参 加 費 <1日の講座> 1名 3000円(弁当予約あり)

<半日の講座> 1名 1500円

講 師 小沼千佳子(北海道NPOサポートセンター 会計担当)

申し込み 団体名・参加者氏名・ご連絡先、1日か半日の講座か、お弁当を予約するかどうかを記入してEメールかFAXで

2月18日(水)までにお申し込み下さい。

申し込み多数の場合は先着順とさせていただきます。ご了承下さい。

お弁当は代金(550円)引き換えです。

個別講習も実施します。詳細はお問い合わせください。税務処理などはNPO会計に詳しい税理士をご紹介します。

参加申込/問合せ電話011-271-5208, 011-281-5927【山本】

北海道NPOバンクからのお知らせ

北海道NPOバンクでは下記の予定で融資申込を受付しております。

	第6回融資	第7回融資	第8回融資
申込開始	1月19日	4月19日	8月2日
申込締切	2月6日	5月7日	8月20日
理事会、第1回審査委員会	2月6日	5月7日	8月20日
第2回審査委員会	2月20日	5月21日	8月27日
面接審査	2月23日~25日	5月24日~26日	8月30日~9月1日
第3回審査委員会	2月27日	5月28日	9月10日
理事会	3月5日	6月4日	9月17日
融資実行	3月中旬	6月中旬	9月下旬

【問い合わせ】北海道NPOバンク事務局 電話 011-204-6523 (北村)

座談会 粉川一郎さんと語ろう

とき：2月7日(土) 10:00~12:00まで 主催：NPO推進北海道会議

ところ：札幌市中央区北5条西6丁目 札幌ビル8F 北海道NPOサポートセンター研修室

内容：評価や、E・ラーニング(市民ベンチャー事業)、ユビキタスなどについて先駆事例を聞きましょう。

定員15人 参加費 500円 参加申込/問合せ電話011-271-5208, 011-281-5927【松本】

粉川一郎プロフィール 筑波大卒。NPO「評価みえ」代表理事。NPOサポートセンター(東京)事務局長。

コミュニティ・ビジネス フォーラム

コミュニティビジネスが北海道のかたちを変える

日時 2月19日(木)午後1時30分～4時30分
場所 札幌エルプラザ3階ホール(札幌駅北口より徒歩3分)
札幌市北区北8条西3丁目(TEL011-728-1222)
主催 北海道総合企画部政策室

プログラム

- 1 講演 市民バンク代表、島根大学地域共同研究センター客員教授 **片岡 勝** 氏
- 2 コミュニティ・ビジネス創業実践支援調査事業報告
NPO法人 旅とぴあ代表 下間 啓子 氏
- 3 パネルディスカッション
「コミュニティ・ビジネスで成功するためのABC」
 - ・コーディネーター：札幌学院大学商学部助教授 河西 邦人 氏
 - ・パネラー：NPO法人 旅とぴあ 代表 下間 啓子 氏
北の起業広場協同組合(北の屋台) 専務理事 坂本 和昭 氏
NPO法人地域生活支援ネットワークサロン事務局代表 日置 真世 氏
ファームレラ代表 新田 みゆき 氏
北海道総合企画部政策室主幹 曾我 浩司 氏

参加申込方法・お問合せ

氏名 所属団体 住所 電話番号を、FAXまたはE-mailにて、下記あてにお申込願います。
なお、先着順に受付しますので、定員になり次第締め切らせていただきます。
北海道総合企画部政策室 協働推進グループ
電話 011-231-4111 内線 23-961,962 FAX 011-232-6313
E-mail: homma.kenichi@pref.hokkaido.jp

北海道NPOサポートセンター主催

片岡 勝さんの「問題解決！事業プラン アドバイスセミナー」 ～事業プランを持ち寄って片岡勝さんにアドバイスを受けよう～

プレスオールタナティブ代表の片岡勝さん。いち早く「市民事業」「地域事業」を提唱し、女性や若者の起業支援を全国展開しています。北海道総合企画部政策室のシンポジウムで来札されるのに併せ、「事業プランアドバイスセミナー」を企画しました。今回は、新規起業だけでなく、事業型NPOで事業や経営での悩みや解決したい課題もお受けします。

日時 2月19日(木)午後6時30分～9時00分

会場 札幌エルプラザ4階小会議室(札幌市中央区北8西3J札幌駅北口 西地下通路直結)

アドバイスを受けたい団体募集 7団体程度(当日は個別相談案件のアドバイスを受けますが、個別相談会ではありません。アドバイス希望団体がテーブルを囲み片岡さんと双方向で問題解決のヒントを得ます。他の団体案件からも得ることが多いと思います。)

アドバイスを受けた団体は、2月12日(木)までに、北海道NPOサポートセンターまでお申し込みください。事前に問題点をお伺いし片岡さんにお伝えします。(担当 小林)

TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524 E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

費用 1団体7000円(フォローアップ付き)

北海道NPOサポートセンターが発行する

北海道のNPO総合情報誌[えぬぴおん]

次号第9号(2月25日発行)の主な内容

グラビア・森づくりの集い・NGOとこんにちは!NGO屋台村
 フロントインタビュー「危機にあるNPO法制度」I I H O E代表 川北秀人さん×NPO推進北海道
 会議代表 杉岡直人さん
 特集「私にとってのボランティア」
 ボランティア概論
 座談会その1 “こんな夜更けもボランティア?”
 それぞれのボランティアへの思いは・私立病院・ボランティアサークル手と手・自分のできるところから飛んでけ車いすメンバー・スキルアップボランティア・たのしいことから ezorock・森林ボランティア・ボランティアとは
 座談会その2 “私にとってのボランティア”
 ボランティアをコーディネートすること(伊藤規久子)・ボランティアってなんとなく・ボランティア情報
 ワーカーズがいく プチトマト
 現場百景・浪花町 16 番倉庫・さっぽろ vo・道南リバーネット
 それゆけNPO スキンカモフラージュ
 新・飛びまわれ車いす 飛んでけ車いすの会
 この人に会いたい NO!!小型核兵器(DU)サッポロ・プロジェクト 今井紀明さん
 新・NPO会計誌上講座

第8号(12月20日発行)の主な内容

偶数月中旬発行

グラビア・アラエール号でエコな生活・おもちゃフォーラム2003 おもちゃとともだち!
 ・札幌市民1000人ワークショップ 市民自治が息づくまちづくりへ
 フロント対談「北海道に夢とパワーを! 起業を考える」NPO法人札幌ビズカフェ2代表 宮田昌和さんVS. HCM(ヒューマン・キャピタル・マネジメント)代表取締役 土井尚人さん
 特集 新しい働き方「起業」・総論「起業のススメ」 札幌学院大学 河西邦人さん
 ・アントレプレナー講座参加者アンケート 「あなたはなぜ起業したいのですか?」
 ・NPO起業成功事例1 パソコン習得と自立支援 NPO法人 札幌チャレンジド
 ・NPO起業成功事例2 コミュニティ放送局が街づくりを推進NPO法人さっぽろ村コミュニティ工房
 ・生活者として地域と仕事をつくりだす 「ワーカーズコレクティブ」という働き方
 ・ベンチャー起業成功事例1 女性起業家「小さな起業の物語」
 ・ベンチャー起業成功事例2 ドリームゲート・コミュニティビジネス コミレス
 この人に会いたい 小さな人々の時代
 チェルノブイリと9・11は未来からのサイン
 「小さな人々」の記録を書き続けるベラルーシの作家
 スペトラーナ・アレクシエ - ピチさん
 シリーズ
 NPO現場百景・NPO法人 アラ!あずまいい会
 ・NPO法人 北見ピアソン会 ・NPO法人 こころの郷
 新・ワーカーズが行く! 住み慣れた地域で安心して暮らすために
 介護サービス・家事援助 NPO法人北海道たすけあいワーカーズ「そよ風」
 道内トピックス・ひまわりの種の会・吉岡忍講演会・陪審制度を体験してみよう・札幌ピースアクション
 道内NPOサポートセンター便り 函館・旭川・釧路・北見
 市民活動をサポートする施設 働く人の相談室/NPO相談室
 連載
 市民活動のススメ 助成金をゲットして団体の力を蓄えよう~助成金申請の心得~
 新・野生動物最前線 ねおすのNPO的経営談義 民主主義的な経営はできるのか? その2
 難民キャンプで出会った子どもたち 第2回 ものやお金をせがむ子どもたち アフガン難民キャンプ
 えぬぴおん占い 2004年のあなたの運勢は? カタカナ用語を斬る! 今月のお題「アントレプレナー」



引越し・旅行・車検のことなら・・・**札通”はこび愛ネット”をご利用ください!**

ご存知かもしれませんが、飛んでけ!車いすの会をはじめ札幌チャレンジドなど10団体ほどが参加しているもので、札通さんの商品を利用して、「NPOサポセンに還元して!」と言うと商品代金の5%が還元される仕組みです。どうやって利用するの?申し込みはとても簡単。下記の”はこび愛ネット”推進事務局にお電話ください。インターネットからの申し込みもできます。利用サービスは、引越し、旅行(札通トラベル)車検・自動車修理(札通自工)と文房具(札通商事)などの購入です。(一部対象外あり)ぜひご利用ください。問い合わせ・申し込みは 札通”はこび愛ネット”推進事務局(札通労組内)電話011-251-4120 FAX011-251-3315

NPO研修日記 その9

千葉 泰嗣 やすし

HPやテレビを見ているとこれは面白いと思うことが多々あります。たとえば、思い出の制服(学生服等)をミニサイズに仕立て直す、市内中心部の廃ビルやホテル等を賃借マンションに改造する、昔の徒弟制度を思い出すような「人」を見て支店として独立させる居酒屋、便利用品等々。すきま産業にビジネスチャンス無限の広がりを感じさせます。

すきま産業ってなんでしょう。私見ですが、ある程度満たされている状態のなかで、更にこれがあればいいなあとかこうあったら便利だなあというアイデア。いわゆるその問題を解決するための手法(製品やサービス)ではないでしょうか。その問題というものを理解した上で、それを解決する独自の手法や技術を備えていく事が成功へのつながりと感じさせます。

NPOも行政や企業で満たされない解決できない社会サービスを担っており、同様のことが言えるかもしれませんね。

特定非営利活動促進法に基づく申請受理数および認証数、不認証数等

(2003年12月31日現在)

内閣府ホームページから <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/npo/data/pref.html>

全国の申請受理数「北海道含む」 12/31現在(内閣府のホームページ)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	16353	14657	55	135
道内の申請受理数 12/31現在(北海道)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	594	516	0	3

認証数の多い県(人口比) 認証数の多い県(人口比) 東京 2974、京都 382、群馬 291、大阪 1182、三重 206、福井 109、長野 282、高知 105、滋賀 162、神奈川 858、沖縄 135、石川 119、山形 124、山梨 94、北海道 516、福岡 470、宮城 217、大分 140、静岡 345、岡山 180

北海道(道庁)では、インターネットで情報提供しています。

<http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/npo.index.htm>

道民チャレンジ21世紀ファンド 【資料室/リンク集/活動カレンダー】

<http://www.with.pref.hokkaido.jp/challenge/>

市民活動団体情報(欲しい支援の情報)/支援情報(さまざまな社会資源を提供する研究機関、企業、NPOが発信する情報)提供/イベントカレンダー、電子掲示板(いまのところイベント情報が多い)、電子会議室などを開設しています。イベントカレンダーには各種イベント情報がたくさん掲載されています。(2月の情報14件、3月情報12件)リンク集もNPO支援団体、情報提供団体、助成団体中心に充実を図っています。お立ち寄りください。掲示板/活動カレンダーを有効にお使いください。問い合わせ npo@mb.infosnow.ne.jp 担当・畑

NPO雪像を見に行こう!

さっぽろ雪まつりでNPOを広めたい!!という思いで、市民雪像づくりに参加します。雪まつり期間の2月5日(木)~2月11日(水)は大通西12丁目会場におなじみのあの「手」をイメージしたNPOキャラクターが登場です。雪まつりにお出かけの際は、是非、NPO雪像をご鑑賞ください!

また、いくつかのNPOも参加されるようです。活動をイメージするような雪像などもありそうですので、探してみてください。市民雪像は今年全部で155基登場します。制作:1月30日(金)~2月3日(火) 土日の日中、平日の夜間。

期間:2月5日(木)~2月11日(水)

場所:雪まつり大通12丁目会場、南側中央付近(146番)



雪像はイメージです。

書籍案内

**社会的経済の促進に向けて
—もう一つの構造改革“市民・協同セクター”の形成へ**

同時代社 (2003-09-15 出版)
・「社会的経済」促進プロジェクト【編】
[A5判] NDC分類:335.8 販売価:2,200円(税別)
在庫が僅少です。品切れの場合お取り寄せとなります。
社会的経済とは何か その理論的深化のために(統治方式の変化と社会関係資源に着目した展開を 新たに3つの視角からの検討が必要;ヨーロッパ社会的経済の新しい動向;グローバリゼーションと「社会的経済」 グローカルな、新たな「公共性」を求めて)
日本における社会的経済の
諸組織 現状と展望(日本のNPOの現状とセクター形成の展望;千葉でのNPOの現状とセクター形成;農業危機と地域再生 地方における「社会的経済」の必要性 ほか)
フォーラム(地域社会における共助システムの構築へ;協同組合勧告やディーセントワーク 政府・民間・国際機関の見直しへ;官治型社会をつぶす 寄生虫のたかる構造の打破を)



書籍案内

2004年度版

介護事業所ガイドブック発売中!!

札幌市介護保険・福祉サービス「事業所ガイドブック」好評発売中です!! 札幌市内事業所1336カ所! を掲載(一部市外を含みます)。サービスの提供地域やサービスの時間、人員体制、利用料金、などなど情報が満載の一冊です。

介護保険事業所は在宅・施設サービスのほとんどを収録。介護保険対象外サービスは下記を掲載。

【介護保険対象外事業所】

- ホームヘルプサービス
- 理美容サービス
- 配食サービス
- ミニデイサービス
- 移送サービス
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 高齢者共同住宅
- 札幌市在宅介護支援センターの情報も併せて掲載しています。



是非お手元にどうぞ。

発行 北海道NPOサポートセンター

[A4版 448ページ定価税込み 2000円]

問合せ TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

 **NPOな...**

書籍案内

ゲンバの知恵袋

価格:2,500円(税別) A4判:126ページ
現場の知恵がモリモリたくさん!! 横浜市内のNPOから集めた、現場の知恵やノウハウをご紹介。毎日の業務で「ヨソの団体ではどうしているのかしら?」と思ったら...「うちにはない解決策」が欲しくなったら...料理のレシピのように開いて、自分に必要な情報をピックアップ!
目次

- ヘルパーの雇用
- ヘルパーの育成

<新任ヘルパー><現任ヘルパー>
<サービス提供責任者・管理者>

- 事務局スタッフ
- 理事
- 組織運営
- コミュニケーション
- 経営資源の調達
- リスクマネジメント
- 管理業務

お役立ちリスト

事務所移転時の手続き、理事長交代時の手続き、神奈川県・横浜市(委託事業)実地指導の調査項目リスト

[問合せ]北海道NPOサポートセンター

TEL:011-204-6523

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp



書籍案内

「起業しましょ」

20数年前、女性の無償労働を有償化していこう、専業主婦の経験を事業化していこうと始まった日本のワーカーズ・コレクティブ。今や専業主婦の域に留まらず、地域から必要とされる事業集団となりました。このワーカーズ・コレクティブガイド「起業しましょ」は、益々注目される働き方、ワーカーズ・コレクティブを始めるための基本的な手順をSTEP1~STEP6の中で紹介させていただきました。

自分の特技を生かして何かを始めたい!

働くからには、やりがいのある仕事がしたい!

地域に役立つ事業を始めたい!

そんなあなたから始まるワーカーズ・コレクティブ
さあ、起業しましょ!

定価:700円(税込)

問合せ:北海道ワーカーズコレクティブ連絡協議会

TEL:011-846-8463



北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」紹介 03年度改訂版

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。

詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話011-271-5208

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧 (単位:円)

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料) 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月～6ヶ月)		基本料金	20,000～
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します	1枚	200
印刷(予約制)	簡易印刷機(リソグラフ)で印刷します	片面 B5 1000枚	2,535
黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は良心的な印刷所を紹介)	紙代込みです。(100枚以上～) (厚紙や色紙は少し高くなります。ご相談下さい) A3まで印刷可 (両面は片面の倍)	片面 A4 1000枚	2,535
		片面 B4 1000枚	4,035
		片面 A3 1000枚	4,535
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します(100枚単位) 片面初版代: 300円、両面初版代: 500円が別途 かかります	片面 カラー	1,400
		片面 白黒	1,000
		両面 カラー	2,200
		両面 白黒	1,800
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅45cm)に印刷します	片面のみ	1,000～
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚 各	200
エプロン	ロゴマーク、事業所名を入れてエプロンを作ります	5枚以上 1枚	4,300
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	60～
介護保険・支援費指定事業所 申請事務サポート	指定事業所になるための支庁・市役所提出書類作成、 提出までのサポートを行います	介護保険 1事業所	10,000～
		支援費 1事業所	7,000～
介護保険料請求事務	伝送による介護保険請求をします	1事業所	2,500～

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険、FP関係について、NPOサポート専門家会議メンバーによる相談を随時受け付けております。(サポスタッフがお聞きし専門家にお伝えします)
法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じてNPOサポート専門家会議メンバーの専門家のアドバイスをいただいています。NPOサポート専門家会議は、弁護士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産専門家、建築士、社会福祉士、FPなどの専門家が参加しています。

NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター / NPOバンク / NPO越智基金

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階
電話番号 011-204-6523, 011-242-4333 FAX番号 011-261-6524
通常業務時間 10:00～18:00 (土、日、祝日は休む時があります)

北海道NPOサポートセンターNPO相談センター / NPO推進北海道会議分室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階
電話番号 011-271-5208, 011-281-5927 FAX番号 011-281-8807
通常業務時間 10:00～18:00 (土、日、祝日は休む時があります)

シーズ(市民活動を支える制度をつくる会)事務局長 松原明さん 来札!
テーマ「政党は市民社会の資源となりうるか?」

～NPO・市民と政治・政党の協働をめざして～

日時:2月16日(月)18:30～ 場所:かでの2・7 520会議室
自治体学会の議会条例プロジェクトの活動報告など(市民の議会参加、法案作成参加への活動報告を予定)
講師:NPO法人シーズ市民活動を支える制度をつくる会 松原明さん 参加費 500円
主催「政治・政党って何だろう」実行委員会 連絡先 共生のネットワーク
電話011-219-5721 FAX011-219-5722

ご存知のようにNPO法はその成立過程において議員立法の形をとり、市民がそこに主体的に参加した稀有な法律ではないでしょうか。今回は、その現場でリーダーシップを発揮した松原さんのお話を聞きながらこれからの政治のあり方について考えます。国政は二大政党制に政権交代をにらみながら収斂してはいますが地方政治はどうなるのか、ちがう意思決定のしくみづくりが必要かもしれません。

情報BOX

白石好孝さんを囲み市民体験農場を考える集い

日時 2月7日(土) 14:00~16:30

場所 北海道大学学術交流記念会館1階第4会議室

主催 実行委員会

講師 「大泉風のがっこう」代表 白石好孝さん。

練馬区で97年より都市農地での市民への野菜づく教室を通じて、食農教育の貴重な実験をしています。

札幌丘珠でもNPO法人「札幌村文化センター」を中心に02年より「親子体験農場」が取り組まれています。都市の緑空間や市民体験農場に関心のあるみなさまの参加をお待ちしております。

お問合せ 札幌村文化センター(土肥)

TEL/FAX 011-782-1130

nico(ニコ)~体で感じよう~

打楽器の響きは体をまっすぐに通り抜けていきます。

ezorock がプロデュースする音楽イベント「nico(ニコ)」は、電気を使わなくても思いっきり楽しめる(=地球に優しい)イベントです。

NGO団体による体験型ブースなども企画中。

あなたの体のエネルギーを充分に使って、歌って踊って楽しんでください。

そして、このイベントからあなたの暮らしにキラリと光る何かをもって帰って欲しいです。

にこにこ(nico×2)笑って楽しみましょう!

【日時】 2月7日(土)

OPEN17:30 START18:00 CLOSE22:00

【場所】公開秘密結社あじと(札幌市中央区南9西11)

【交通機関】地下鉄南北線中島公園駅から徒歩15分

市電 西線9条旭山公園通り駅から徒歩5分

車でのご来場はご遠慮願います。

【出演】ジンベクラブ・HARD TO FIND・腐葉土

【料金】1,500円(1drink付)

【協力】北海道環境財団 北海道NPOサポートセンター 海運堂(キャンドルコーディネート)

【主催】ezorock <http://www.gomizero.org/ezorock/>

【お問い合わせ】090-2813-4657(今)

第6回 緑の回廊講演会

北海道地域環境学習講座 eco アカデミアGISの可能性

鳩の目、鷹の目、人工衛星の目

~高いところから見た真駒内の自然を考える~

参加費無料、無料送迎バス運行!

【日時】2月14日(土曜日) 14:00~16:00

【講師】酪農学園大学環境システム学部地域環境学科

助教授/北海道環境学習トレーナー

金子 正美(かねこ まさみ)さん

【会場】真駒内ハイツ北海道青少年会館 視聴覚室

札幌市南区真駒内柏丘7-8-1 011-581-1141

【駐車】200台

【交通】地下鉄真駒内駅前から無料送迎バスが出ます。

行き13:30/帰り16:30。

(発車場所は真駒内中学校グランド横)

【対象】どなたでも

【参加費】無料(申し込み不要。直接おいでください)

【問合せ先・主催】真駒内・芸術の森緑の回廊基金

問合せは事務局(担当/相蘇(あいそ))へ

mail:aisok@nifty.com TEL 011-582-4090

FAX 011-582-4091

ナチュラブ・北海道企画

徹底討論!『北海道の明日』シリーズ 第1章 徹底討論!「まちづくり基本条例」 ~ 条例から考えるまちづくり ~

北海道を元気にしたい!子どもたちのために素晴らしい北海道を創っていききたい!!そのために、私たち北海道住民が自ら考え、行動を起こさなければ。。そう考えた仲間が集まって、継続性のある連続シンポジウムを開催する「ナチュラブ・北海道」を設立しました。

「北海道の明日」を考えるためには「自治」の観点が不可欠です。市民参加の実現に向けて積極的な取り組みをスタートさせている「上田文雄・札幌市長」と、小さな町に本物の自治を根付かせるための具体的な取組みを積み重ねている「逢坂誠二・ニセコ町長」を毎回迎え、それぞれのテーマに沿った識者をお招きして、ともに徹底的に討論を行います。

ぜひシンポジウムにお気軽にご参加ください。みんなで「北海道の明日」を考え、行動していきませんか?

参加費は毎回1,000円です。参加申込みは、ワークスコレクティブえこふりい011-866-1113まで。

日時:2004年2月15日(日)

13時30分~16時30分

会場:札幌市男女共同参画センター・ホール

(札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F)

対談:逢坂誠二・ニセコ町長、上田文雄・札幌市長

内容:まちづくり基本条例の意味するものは?条例制定によって何がどう進んでいくのか?市民自治の拡がりに対してまちづくり基本条例の及ぼす効果は?など、まちづくり基本条例の本質に徹底的に迫る。まちづくりをひとりひとりが自分のこととして考える契機としたい。

ムービー北海道から

字幕・副音声付き 上映会

2月18日(水)10:00~12:00

ちえりあ1F ホール

(札幌市西区宮の沢1-1 地下鉄宮の沢駅直結)

上映作品「鉄道員(ポッポヤ)」

入場無料

問合せ:ムービー北海道 TEL/FAX 011-643-4654

NPO法人 コンカリーニョ企画

ふれあい街づくり西区文化フェスタ2004

「フォーラム&ミニライブ~つなぎます。創りましょう。地域文化の駅~」

参加費500円

とき:2月19日(木)19:00~21:00

ところ:ことにパトス(札幌市西区地下鉄琴似駅B2F)

第1部 プレゼンテーション:地域からの元気情報発信

NPO法人コンカリーニョ 斎藤ちず

赤い実企画 飯塚優子

三角山放送局 橋本隆平

琴似商店街振興組合(未定)

ミニライブ(20分)札幌フュージョン

第2部トーク:地域文化のプラットフォーム像について

ゲストスピーカー:磯田憲一氏/伏島信治氏

問合せ コンカリーニョ TEL/FAX 011-615-4859

シンポジウム

「非営利組織法制改革の動向と問題点 『現実と理念』の架橋を求めて」

2004年2月21日(土) 9:00~18:00

会場：北海道大学(札幌市北区)人文・社会科学
総合教育研究棟 W301

主催：文部科学省・科研費補助・基盤研究B・研究
プロジェクト(研究代表：田口晃北海道大学大学院
法学政治学研究科・教授)

共催：NPO/NGO/ボランティア研究会

第一部 9.15-12.15

小山 裕(元内閣官房公益法人等改革推進室長)
「改革動向の全体像と主要論点をめぐる論議の動向」
太田 達男((財)公益法人協会理事長)
「非営利公益法人法制をめぐる論議の動向」

永田 俊一((社)信託協会副会長)
「公益信託法制をめぐる改革動向とその問題点」

第二部 13.30-15.30

小林 董信(北海道NPOサポートセンター事務局長)

「NPO法の5年—その成果と問題点」

大杉 謙一(東京都立大学法学部助教授)

「会社法制と非営利組織法制」

第三部 全体討議：15.45-17.45

コメンテーター：

小島 廣光(北海道大学大学院経済学研究科教授)

鈴木 敏正(北海道大学大学院教育学研究科教授)

須永 和久

(コミュニティ・ビジネス・ネットワーク副理事長)

立岡 浩(花園大学社会福祉学部助教授)

田中 弥生(東京大学大学院工学系研究科助教授)

濱口 博史(平野法律事務所 弁護士)

浜辺 哲也(公益法人改革オンブズマン)

出口 正之

(国立民族学博物館民族学研究開発センター教授)

(予定)(五十音順)

コーディネーター：東海林 邦彦

(北海道大学大学院法学研究科 教授)

【要申込】申込み締め切り2月16日(月曜日必着)

定員 50人、先着順

参加費 無料

問合せ/申込み：FAX011-706-3958

E-mail takahash@juris.hokudai.ac.jp

「飛んでけ!車いす」の会 講演会「フィリピンの孤児たち」

ストリートチルドレン200人が暮らす児童養護施設「ナヨン・カバターン」。この施設で働く臨床心理士のポッキーさんをお招きして、フィリピンの子どもたちのお話を聞きます。

2月21日(土)14:00~16:30

札幌国際プラザ(札幌市中央区北1条西3丁目MNビル5F)

定員80名 入場無料 申込・問合せ「飛んでけ!車いす」の会

電話/FAX 011-242-8171

【富良野】富良野塾20周年記念講演

「谷は眠っていた2004」作・演出 倉本 聰

出演 富良野塾

とき 2月19日,20日,21日

ところ 富良野演劇工場

料金・講演時間等問合せ NPO法人富良野演劇工房

TEL 0167-39-0333

【白老】市民活動地域フォーラム in しらおい ～子育て支援でまちづくり～

目的 白老町を中心に近隣市町村に呼びかけ、地域のニーズに答えられる子育て支援のあり方や、NPOの役割について考える。

主催 (財)北海道立市民活動促進センター

共催 特定非営利活動法人(申請中)お助けネット

後援 白老町

開催日時 2月28日(土)午前9時~12時半

開催場所 白老町コミュニティーセンター201

参加対象者 白老町町民・行政職員、近隣市町村子育て支援関係者

定員 150名 参加料 無料

内容

9:30開会
9:40~11:00 講演「市民が行う子育て支援に期待したいこと」
恵泉女学園大学 大日向 雅美 教授

11:10~12:15

パネルディスカッション

パネラー・苫小牧市NPO法人冒険の森未来工房 金田

倫知氏・室蘭市NPO法人ワニワニクラブの仲間たち

の会 吉田淑恵氏 助言者・大日向雅美教授

コーディネーター・お助けネット代表 中谷通恵

12:30 閉会

申込み方法2月25日までに、TELかFAXで、中谷014

4・82-2685まで。

「視覚障害者のための」

「はじめてのパソコン操作」講習会のご案内

札幌チャレンジドでは、全盲の方を対象にパソコン講習会を開催することとなりました。今回は、初めてパソコンに触れる方を対象に、文字入力を中心とした講習を行います。引き続き、文書作成、インターネット、メール講座も開催の予定です。見えない方にもパソコンの楽しさを知っていただきたいと思ひます。

【内容】パソコンの基本操作方法、文字入力、漢字変換などを最初から学びます。

(音声読上げソフトはPCトーカーXP、ワープロソフトはマイワード5を使用します)

【日時】4月1日、8日、15日、22日の毎週木曜日

4週間連続で受講していただきます。

午前コース 10:00~12:30

午後コース 13:30~16:00

【対象】全盲の方で、パソコンを始めたい方、又はパソコン操作を始めて日が浅い方

【費用】2時間30分の4回コース1回1500円

(初回のみテキスト代込み2000円)

【会場】札幌市中央区南2条西10丁目

クワガタビル2F(中央区民センター北側隣)

北海道NPOサポートセンター 会議室

【定員】午前、午後コースとも6名

【ご予約】お申し込み、ご質問は、札幌チャレンジド

(電話261-0074)まで。

--- NPO法人 札幌チャレンジド ---

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8F

TEL:011-261-0074 FAX:011-219-1811

challenged@npohokkaido.jp

<http://www.npohokkaido.jp/challenged/>

生活産業創出シンポジウム 入場無料 2月13日(金)

17:30~20:00 札幌プリンスホテル国際間パミール(札幌市

中央区南3条西12丁目) 基調講演 島田晴雄慶応大学

教授「北海道における生活産業創出の可能性」 ビジネスモ

デル成果発表「生活密着型サービス業創出支援モデル事

業」

札幌はこび愛チャリティーコンサート 2004
開催日時：4月11日(日)15時～(14時開場)
場所：札幌コンサートホールKitara 大ホール 札幌市中央区中島公園1番15号
入場料：2,000円
問い合わせ 札幌通運コンサート事務局 電話：011-251-4111
プログラム 指揮とお話 藤岡 幸夫 演奏札幌交響楽団
第1部ベートーヴェン 交響曲第6番「田園」 第2部エルガー 行進曲「威風堂々」第1番 ガーシュイン ラプソディー・イン・ブルー ピアノ独奏 田中宏明 ラヴェル ボレロ 指揮者の藤岡幸夫氏は、現在関西フィルハーモニー管弦楽団の正指揮者であり、海外でも幅広く演奏活動を行なっています。また英国 CHANDOS レーベルより7枚のCDをリリースしています。 ピアノ独奏者の田中宏明氏は、道立小樽湖陵高等学校を経て、東京音楽大学、東京芸術大学大学院を卒業。その間アメリカ・インディアナ大学音楽学部への留学を経験。現在は活動拠点を北海道に移し、活発な演奏活動の他、後進の指導に当たっています。
チケット販売窓口 Kitara チケットセンター 札幌市中央区中島公園1番15号(札幌コンサートホール内) 011-520-1234【電話予約】 月～日:10:00～17:30【窓口販売】 月～日:10:00～18:00(夜公演のある日は窓口販売19:00まで) Kitara 休館日(2月は2日・16日、3月は1日・15～18日) 道新プレイガイド札幌市中央区大通西3丁目道新ビル1F 011-241-3871【窓口販売のみ】 月～土:9:30～18:30 祝 日:10:00～18:00 日:定休日 札幌トラベル札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル 011-251-4190 月～金:8:30～18:00 土・日:定休日 2月14日(土)15日(日)は9:00～17:00まで営業致します。

助成金情報

インターネット環境にないNPOのみなさまへ
「助成金を申請したいが、情報を上手く収集できない」という声を良く聞きます。

最近の助成金は、募集要項や応募用紙をインターネットから取得(ダウンロード)する方式が増えています。また、さまざまな助成金情報をインターネットから取得することができます。

北海道NPOサポートセンターでは、インターネット環境にないNPOの為に、

IT推進NPOの紹介

パソコンの導入設定・インターネット環境整備支援
助成金情報取得支援/助成金申請サポートを行っています。(地域によって対応できない場合があります)詳細はお問い合わせください。

電話011-204-6523(担当:畑)

下記の助成金情報についてはインターネットからの取得情報(抜粋)です。詳細は各助成元に問い合わせ下さい。

財団法人介護労働安定センター

・今後の新規創業や新サービス開始にあたって、従業員の雇入れを計画している介護関連事業主の方に対しての助成制度があります。

介護雇用創出助成金

・従業員の働きやすい職場環境づくりのお手伝いをするため、雇用管理についてのご相談を受け付けています。

雇用管理についての相談援助事業

雇用管理についての情報提供事業

・働きやすい職場づくりを進めるため、雇用管理について学ぶ講習やフォーラムを実施します。

雇用管理者講習

雇用管理改善推進フォーラム

・介護サービス提供中の万一の事故に備えた賠償責任保険があります。

介護事業者賠償責任補償

介護労働安定センター北海道支部

060-0061 札幌市中央区南一条西 6-4-19 旭川信金ビル4階 電話 011-219-3157 F A X 011-219-3158

セブンイレブンの基金助成

活動助成・育成助成・事業助成3分野の助成について

対象活動のテーマ：

1 自然環境保全、2 地域環境美化、3 体験型環境学習、4 生態系保護、5 環境をテーマにしたまちづくり地域づくり

対象経費は上記3助成共、活動経費(謝金や事務局運営に関わる諸経費は対象外です。)

活動助成対象団体：

環境NPO法人、もしくは環境市民ボランティア団体で助成金額は上限100万円

助成期間：平成16年3月1日より1年間

応募締切：平成16年2月末日(必着)

育成助成対象団体：

平成17年2月末日までに「環境の保全を図る活動」を主たる活動分野としてNPO法人格取得申請を行なう団体で助成金額は上限50万円/年

助成期間：平成16年3月1日より最長3年間

応募締切：平成16年2月末日(必着)

事業助成対象団体：環境NPO法人で助成金額は上限200万円/年

助成期間：平成16年3月1日より2年または3年間
助成期間は申請事業の実施期間に準じます

応募締切：平成16年3月末日(必着)

NPO法人 NPO推進北海道会議

代表理事 田口 晃(北海道大学教授)

杉岡 直人(北星学園大学教授)

杉山さかえ(北海道グリーンファンド理事長)

横山 純一(北海学園大学教授)

事務局長 佐藤 隆

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 杉山さかえ

事務局長 小林 董信

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目

クワガタビル2F

TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

URL <http://npo-hokkaido.org/>